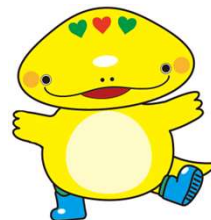




ともにんのお悩み相談コーナー



今回のお悩み

施設内で認知症を患っているご利用者様が他のご利用者様にお話しされた事を忘れてしまい、「言った」「言わなかった」と口喧嘩になってしまいました。ご病気のことを説明することも難しいですし、どのように対応するのが一番良いのか悩んでいます。

解決方法 1：メモをとる

日記など話したことを書き残す。

紙に書いて確認の名前、記入をしてもらう



言った、言わなかったではいつまでも終わらないので、大切な事などはメモ書きして渡します。証拠も残って良いと思います。

次からは言われたことをメモしてはっておくように提案する。今回についてはお互いに言っていない、言ったではなく和解する。

お互い距離をおいて一人一人とお話しをする。個別で話した内容をメモに残す

病気のことを説明し、どのような事をお話しされたか一緒に伺う。内容をかみくだき分かりやすいように説明し、必要であれば紙に書いてお渡しする。

解決方法 2：場所を変えます

場所を移動し、お話しを聞き、落ち着いていただく

違うことに意識を向けてもらうようにする。
レクリエーションや散歩とか。

感情をリセットするために、一時的に別々の場所ですぐす。
散歩するなど気分転換を図る。お茶や水などを飲む。



一旦離してそれぞれお話しを聞く。一人一人に話を聞き賛同する



間に入りそれぞれの意見に応じた対応が必要。それでも口論になるのなら席を離すなどの対応も必要かと…

職員が間に入り、落ち着いたうえでもう一度ゆっくり話してもらう。

両者の話をゆったりと聞き、そのような気持ちになったことを受け入れ寄り添う。

どんな話だったのか職員と一緒にもう一度聞いてみると明るく提案するか、その話を関連づけた違う話題を出して場の空気を変えてみるのはどうでしょうか。

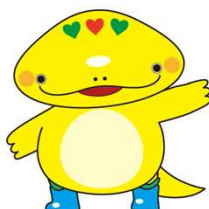
利用者同士で話を進めるのは難しいと思うので、第3者（職員が話を傾聴し2人の意見を聞いてお互いの病気（認知症）を難しいかもしれないが理解してもらう。

病状の理解は難しい面がありますが、離す時間をもったり職員が間に入ることを増やすことかと思います。その都度その都度の傾聴と家族様への情報提供は必要だと思います。

双方の話を聞き、それぞれの利用者さんと1対1で話す。相手の方には私の方からお伝えしますと伝え、これ以上水かけ論にならないように努める。

家族も介入し、支援に入り今後の方針を練っていく。

職員が話している姿を見ていたら「話してましたよ!」と伝える。



アドバイスは参考になったかな。
次回もよろしくね。